



ニュースでも 先月は観測史上最高気温と言われるほど異常気象が続きました。寒暖差が大きい中、体調には気をつけて過ごしていきたいものです。

ところで、昨年度より安全計画の策定が義務化されました。安全計画とは、保育施設ごとに安全確保の取組計画を定めます。年度が始まる前に安全計画を策定し、「施設の設備等の全点検」のほか、「園での活動・取り組み（園外活動を含む）における、職員や児童に対する安全確保の指導」、「職員への各種訓練・研修等の児童の安全確保に関する年間スケジュール作成」なども実施。園内での活動に限らず、散歩や送迎時などの安全確保も行います。（子ども家庭庁保育所等における安全計画の策定に関する留意事項について：参照）保育園にとって安全、安心は基本ですが、可視化されていませんでした。具体的な内容は、4月から6月には児童・保護者に対する安全指導として園生活を安全に過ごすための決まりや約束（登園降園の仕方、園児の引き渡し方法、出欠席の連絡、けが病気に対する連絡、服装ヘアゴムなどの注意喚起。誤嚥になりやすい食品、食事についての説明。また、自転車の乗り方、ヘルメットについて（春秋の交通安全運動に向けて）など様々あります。職員は、各マニュアルがどこにありどのような時に必要なのか、避難訓練で火の元はどこでどのように避難すればよいのか、不審者訓練も室内、室外の具体的な方法を確認します。園内外の研修・講習参加の年間計画。再発防止策の徹底でヒヤリ・ハット事例の収集・分析及び対策とその共有の方法等。紙面にするとこんなに沢山あり、その一つ一つの積み重ねだと改めて気づきました。

猛暑が落ち着いた今日この頃、地域の方が園見学を希望されています。保育園が、どんなところか知らない子どもたちや保護者の方々に保育園を見ていただき安全安心なところだと改めて伝えていきたいと思います。また、子どものあそびから沢山の経験ができ、育ち合うところだと思っていただけたら嬉しいです。これからも、子どもたちのほっこりするあそびや表情、ひとつひとつ丁寧に保護者の皆様にお知らせして安全、安心、信頼を築き努力していきます。（ぶどうの木保育室 中西絹子）

*光の園保育学校の安全計画は、1階事務所前にあります。

主において喜びなさい。同じことをもう一度書きますが、これはわたしには
煩わしいことではなく、あなたがたにとって安全なことなのです。

～フィリピの信徒への手紙 3章1節～

<11月の予定>

- 2日(土) 大バザー
- 6日(水) 4歳児芋ほり遠足
- 7日(木) 避難訓練
- 11日(月) 収穫感謝礼拝
- 13日(水) 防犯訓練（散歩先）
- 14日(木) 誕生会

<区立保育園で年末保育を実施します>

☆今年度より光の園では実施いたしません。

期間： 12月29日(日)、30日(月)

申込書類は光の園でも配布しています。お声掛け下さい。
申込方法等詳細は配布書類をご覧ください。

<12月28日(土)、1月4日(土)のお食事について>

調理室の工事の為、お食事、おやつは市販のものを提供させていただきます。

あそびながら筋トレしてます！

分園には室内前の廊下を隔ててすぐの所に階段があります。先日、階段に大きなマットを敷きよじ登ったり滑ったりするあそびを取り入れてみました。いつもと違う階段の光景に一瞬驚いた表情をしていましたが、あそび方がわかると目を輝かせてよいしょよいしょと登っています。登りきる前に重力に耐えらず“しゅ〜”と滑り落ちてしまう、ということもまた楽しいようでケラケラと笑っています。頂上から見ていると必死な表情、楽しそうな表情など色々な表情が見れて微笑ましいです♡今後も全身を使った色々なあそびを取り入れていきたいです。

つぼみぐみのブーム

布製の小さい手提げバッグを置きました。買い物や通園時など日常でよく目にするものかと思うので子どもたちの中でも使い方はわかっている様子。早速、中に色々なおもちゃをせっせと入れる姿もあります。気付くとパンパンなことも！数人でたくさんの手提げバックを腕から下げて歩き、まるで“お買い物？”のようなかわいい姿に担任のニヤニヤは止まりません。“一緒に行きましょう！”と言わんばかりに手繋ぎを誘われ室内を練り歩くあそびが最近の流行りです。

ももぐみ(1歳児クラス)

「Aさんのつぶやき」

過ごしやすい季節となったので、散歩やテラスでの遊びを再開しました。先日、テラスでしゃぼん玉をしながら保育者が「しゃぼん玉の歌をうたうと子どもたちが「わーっわーっ」とリクエストをしてくるのと一緒に歌っています。その時、Aさんがしゃぼん玉を追いかけて何がをつぶやいていたので耳を澄ませて聞いてみると、「きれいなしゃぼん玉 買ってー！もってかえりたいなあままに。」と言っていました。両手で一生懸命にしゃぼん玉をつぶさないようにキャッチして、大好きなママに持ってリポート見せようと思ったAさんの優しい気持ちに心が癒されました。



1才児クラス さくら組 私達、今 トイレに夢中です！！

最初はトイレを見に行ってみようと数人を誘って向かうだけの予定でしたが…そんな友だちの姿を見て他の子どもたちもトイレに行ってみたい！と大ブームに。今では、保育者が誘わずともオムツを持ってきたり、オムツを触る身振りをして自らトイレに行きたい！と伝えてくれるようになりました。トイレに向かうだけではなく、トイレを成功させたい、という気持ちも強く成功するまで長時間トイレに座ってみたり、「ちっちゃでたよー」と想像のお話をする姿も…😊稀に成功することもあり、子どもたちの想像以上の成長に驚いています！

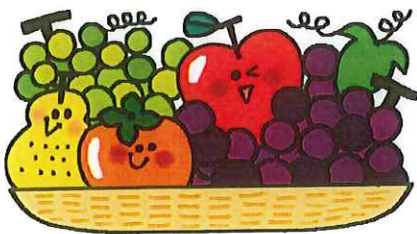
すみれ組
(2歳児)

「続・ジャングルジム商店街」

覚えているでしょうか。5月の園だよりで紹介した「ジャングルジム商店街」のことを。涼しくなって、散歩の楽しい季節となった今、また商店街が賑わいを取り戻しております。それも以前よりもパワーアップしているのです。

お寿司屋さんでは「何がいいですか？マグロにたまごがありますよ。あ、いくらはありません」と先に何があるかを丁寧に教えてくれます。おにぎり屋さんでは「いちごとチョコレートのおにぎりいりますか？」と珍味を楽しむこともできるのです。

お金がなくても「お金いりますか？」とお金(石)をくれるので安心。ぜひ、横川公園のジャングルジム商店街にあそびにきてくださいね。



2歳児
たんぼぼぐみ

「こむいない？」ってなんだ？



涼しくなって、思いっきり公園であそんだ帰り道、「こむいない？」と A さんが保育者に伝えてくれました。が……………全く聞き取れず…。(2歳児らしい言葉で伝えてくれていました。)

なんとか予測して何回か聞いてみるものの、あてはまるものがなく、申し訳ない気持ちになっていました。すると、隣にいた B さんが「だんごむし？」と聞いてくれて、M さんは「うん！」とにっこり。保育者も「だんごむしいない？って聞いたかったの？」と聞くと「うん！」と嬉しそう。

「(なるほど！！)！！！！ありがとう～」と B さんに感謝した帰り道でした。

さらに、その日のごはんの時。C さんが「このまえさあ、えんちょうばんのおへやにあったかめさんさあ、あの、のってるやつ」と話し始めました。保育者またもや「？？？」延長番のときのやつ？かめさん？と思い返すも思い当たる物がなく、いろいろ聞いてみるものの…わからず…。

すると、D さんが「たんじょうかいのやつじゃない？」と。保育者はそれを聞いて…

「(なるほど part2)！！！！プレイルームで行った誕生会のお楽しみに出てきたうらしまたろうのお話のことか！！」と納得。E さんも「うん！！きらきらきれいだったよね」と言って、とても嬉しそうに続きを話してくれました。(延長番のお部屋の、と説明をしてくれたのは、プレイルーム＝延長番のお部屋となっているようです。)子どもたちの力にたすけられた～！と思ったと同時に子どもたちの汲み取る力はすごいなと思いました。きっと大人とはまた違った感覚で会話を感じているのでしょう。

他の場面でも、言語ではなく、笑い合うだけで会話が成立して楽しんでいる姿もあります。そんな姿を見ると、保育者が使っている**ことば**って、ちっぽけだな、と感じます。大人が忘れてしまった感覚ってありますよね。そんな子どもたちの力を見た時に心がとっても暖かくなりました。

(これを書いている今でも…この出来事を思い出すと心がわくわくします。

…子どもって、ほんとうにすごい！！！！)

お知らせ

実習生が入ります

11月25日(月)～12月7日(土)
東京成徳大学 2名
よろしくお願いします。

今月のやまびこの投書は

ありませんでした。

子ども家庭庁では11月にオレンジリボン児童虐待防止推進キャンペーンを実施しています。今年度の標語「189(いちはやく)気付いてあげてそのサイン」保育園掲示のポスターやリーフレットもご覧ください。

ちゅうりっぷ組
(3歳児)



親子いもほり遠足への軌跡!?

いもほり遠足を1週間後に控えた10月の誕生会。お楽しみ会の劇は『おおきなかぶ』ならぬ『おおきなおいも』でした。「うんとこしょ〜どっこいしょ!!」と誕生児のお友だちにも手伝ってもらってやっと抜けたおいもは、子どもひとりでは持てないくらいのデカイもちゃん。「〇〇ちゃんたちも大きいのって来る〜」とルンルン。その数日後、ゆり組がプランターで育てているおいもを収穫するというのでワクワクで見に行くと、ゆり組さんが引っぱって出てきたのは誕生会で見たおいもの1/50くらい?のチビいもちゃん。子どもたちは???な表情。おいもが出てくる絵本は何冊もクラスのみんなと読んだし、スーパーに並んでいるさつまいもも知っているけれど、ぼくたちわたしたちが掘るおいもは大きいのか小さいのか?おいもほりっていったいどうやるのか???といった複雑な感情だったに違いありません。

そしてドキドキで迎えたいもほり当日。園庭の土とは勝手が違う畑の土に悪戦苦闘する子どもたちでしたが、お父さんお母さんの力も借りて、たくさんのおいもを収穫してきました。「畑を歩くのが楽しかった」「虫を見つけたよ」「お弁当がおいしかった」など、しばらくはいもほり遠足の話で持ちきりでした。一番多かった声は「また、みんなでおいもほり行きたい!!」 ~百聞は一見に如かず~ ですね!

ばら組
(4歳児)



「アイスクリーム屋さん、開店!」

クラスに色鉛筆を出すようになってから、塗り絵が大ブームになっています。特に人気なのは、可愛いスイーツや電車、ハロウィン等です。子どもたちは塗るだけでは飽き足らず、それを切って商品とし、アイス屋さんを開店して売るようになりました。(ゆり組のお店、祭りごっこの影響かな?) 大きな声で「いらっしやいませー! アイスイかがですかー?」と聞こえたら開店の合図です。周りにいる子どもたちもあそびの手を止め、それぞれのタイミングでお店に行っていました。「先生もアイスイかがですか?」と呼び込みがあり行ってみると、椅子とスズランテープを使って並び列が分かり易くしてありました。「なにがありますか?」と聞くと手書きでメニュー表が作られていて、売り切れの商品には×印まで書いてありました。「チョコミントください!」という可愛く塗られたアイスを渡され、お金を払う仕草をしました。「食べ終わったら返却して下さい!」とのこと。どうやら商品がなくなってしまうのは困るため、在庫をみながら返却制を導入していました。お店屋さんをやるにあたって、子どもたちがそれぞれ案を出し合っ、お客さんが分かり易いように様々な工夫がされていてただただビックリしてしまいました!! 今日開店するかな~♪??

ゆり組
(5歳児)

ここ掘れ! いも掘り! どっこいしょ!

5月にサツマイモを種いもから大切に育ててきた子どもたち。収穫の時期を迎えて、早速みんなで出来上がりを見ることにしました。いざプランターを前に「あ~どうなってるのかな...」「ちゃんと、おいもに、なってるかな。」と色々な感情が渦巻いています。そんな中、ふとAさんが「だいじょうぶだよ! みんなで、みずやり、やったじゃん!」と自信満々な一言が、周りの空気を一気に変え、さらに期待も膨らんでいきました。また掘る前に、Bさんが「おいもをほるときは、てでほるんだよね。おいもさん、きれちゃうから。」と芋掘り遠足の時掘った経験を覚えており、Bさんのアドバイスのもと、順番に根元からゆっくりと掘っていくことにしました。ですが、掘っても掘ってもサツマイモの気配がなく...。保育者も傍で手伝いながら「1本だけは!」と心の中で願いました。すると「はっ! みえた~!」と嬉しそうな歓声が上がリ、観に来ていたちゅうりっぷ組やばら組の子どもたちが見守る中、みんなでツルを引っ張りました。3・4歳ともに♪いも~をひっぱるゆりぐみさん! よ~いしょ、よいしょ、よ~いしょ! おおきないもが~ほ・れ・ま・し・た~! と歌っていたので、いつの間にか一体感もあり楽しそうに掘る姿がとても印象的で、かわいらしい瞬間でした。結果は、立派なサツマイモが1本しっかりと実をつけていました! 自分たちの手で育てた経験が、子どもたちの実りある成長に繋がっていくように願っています。





今年度も園では手足口病をはじめ様々な感染症が流行しました。皆さんの中には、感染症は対症療法しかないから受診は必要ないとする方もいるかもしれませんが。しかし中には命に関わる程度に重症化するお子さんや、流行している感染症以外の病気を発症するお子さんもいます。お子さんに何か症状が出た時に、〇〇病が流行しているからとお家の方が見当をつけるだけでは、実際は何の感染症かはわからず適切な治療や経過観察が受けられません。感染症が疑われる時は、お子さんが元気であっても受診をして診断を受けてくださるようお願いいたします。

伝染性紅斑（りんご病）は妊娠初期の方や妊娠の可能性のある方が罹るとお腹の赤ちゃんに悪影響を及ぼすことがあります。そのため罹患者が確認された場合は、園として速やかに皆様にお知らせして流行を沈静化する必要があります。診断を受けられましたら必ず園へお知らせくださるようお願いいたします。

おひさま文庫より

「最強の絵本」



「いないいないばあ」1967年 童心社
作・松谷みよ子 / 絵・瀬川康男

絵本の研修会で、グループ討議の際取りあげられた絵本が右の「いないいないばあ」でした。

「どの園にもある」「人生で初めて出会う推理本かも」「誰もが笑顔になる最強の絵本ではないか」

そんな感想を述べ合ったこの絵本は、1967年に発行され、今では750万部を超えて日本で一番多くの方が手にしています。（2位の『ぐりとぐら』は約550万部）

0歳から楽しめる絵本を作りたいという松谷みよ子さんの思いにのせて、登場人物と読み手とが目が合うように描かれた瀬川康男さんの挿絵も多くの人を虜にする秘訣かもしれません。そして読み終えたときと大好きな人と共に「いないいないばあ」を楽しんでみたくなるのです。作者のお二人もそんな親子のあたたかな姿を思い浮かべながら作りあげた一冊なのでしょう。

おひさま文庫では世代を超えて愛される最強の絵本を並べておまちしています。

その他 約50年前に出版されたおすすめ絵本

- ・「あーんあーん」1972年
作・絵・せなけいこ（福音館）
- ・「おおきなおおきなおいも」1972年
作・絵・赤羽未吉 / 原案・市村久子（福音館）
- ・「しろくまちゃんのほっとけーき」1972年
作・絵・わかやまけん（こぐま社）
- ・「からすのパンやさん」1973年
作・絵・かこさとし（偕成社）
- ・「はじめてのおつかい」1977年
作・筒井頼子 / 絵・林明子 福音館

この他にも長年愛されている絵本がおひさま文庫にありますのでぜひ手に取ってみてください

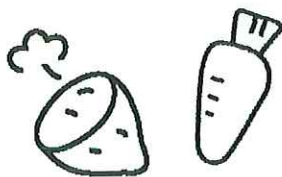


秋の味覚をあじわう 

やっと秋らしい気候になってきましたね。秋はお米・おいも・根菜・きのこ・・・などおいしい食材がたくさん。りんごや柿などの果物もでてきます。夏野菜とは異なり、優しい色合いの野菜が多いと感じます。秋刀魚（さんま）や鮭も脂がのっておいしい季節になります。保育園のメニューにも秋の味覚がたくさん登場します。

この時期、新米はそのままでもちろんおいしいですが、さつまいもやきのことの相性もばっちり。いろいろな炊き込みご飯を楽しめます。10月には3歳、11月には4歳のクラスがさつまいも掘りに出かけますので、自分たちで掘った特別なさつまいもで作ってみたいかかでしょうか？

そして保育園ではやはり、カレーが大人気！じゃがいもを使ったカレーが一般的ですが、保育園ではこの時期になるとさつまいもを使ったカレーや根菜たっぷりのカレーも人気です。今回は根菜たっぷりの“すみちゃんカレー”をご紹介します。（墨田区のおすすめメニュー、隅田川ちゃんこふうカレーの通称だそうです）

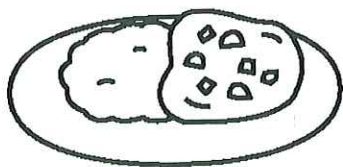


<材料>大人2人・子ども2人 目安

ごはん・・・適量
 鶏モモ肉・・・180～200g程度
 （開きなら一枚分）
 油揚げ・・・1枚
 玉ねぎ・・・1個
 人参・・・1本
 ごぼう・・・1/4本くらい
 れんこん・・・小1節
 里芋・・・3～4個
 油・水（だし汁）・カレールウ・・・適量

<作り方>

- ①お米を研ぎ、炊飯する。
- ②鶏肉はひと口程度の大きさ、
その他の材料もカットする。
油揚げ→短冊状
玉ねぎ→くし形
人参・さといも→いちよう
ごぼう・れんこん→うすぎり
- ③鍋に油を入れ、鶏肉を炒める。
- ④鶏肉の色が変わってきたら、他の材料も入れ
軽く炒める。
- ⑤カレールウに表記されている分量通りの水
（だし汁）を入れ、煮込む。
- ⑥食材が柔らかくなったら、カレールウを溶かして
さらに煮込む。



だし汁で煮込むと
さらにおいしくなります

